



補助事業完了のお知らせ

このたび、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団令和6年度助成事業の交付を受けて、以下の事業を完了いたしました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。

事業名： 令和6年度助成事業
事業内容： 床走行式リフトの購入
補助金額： 1,620,000円
実施場所： 富山県氷見市阿尾410番地
特別養護老人ホームつまま園
特別養護老人ホームつまま園たぶの里
完了年月日： 令和6年11月8日

社会福祉法人ひみ福祉会

理事長 清水 幸雄

1 補助事業の概要

認知症で転倒リスクが高いご利用者も多く、安全のために低床ベッド、センサーマットや見守り機器を導入している。しかし、床からの移乗介助に課題があり、腰痛を訴える職員もいる。先日、床に降りた男性利用者をベッドへ移乗する際に抱え上げてしまい、職員が腰椎椎間板ヘルニアを発症してしまった。入院・手術も必要となり、生活や仕事に大きな支障を生じてしまった。

当施設は床走行式リフトを導入しているが、旧型でハンガーが床に届きにくく、足元の開きも狭いので、普段使用には問題ないが、床からの使用には技術を要する。導入台数も少なく、事故があったフロアには近くにリフトがなかったこと、夜勤であり、他職員の応援を依頼できなかった事情もある。

そこで、床からの移乗が行える床走行式リフトの台数を増やし、安全に働ける職場環境を整えたい。

2 予想される事業実施効果

今回導入した床走行式リフト 2 台はどちらもリフトの脚が 6 輪構造で、スムーズに横移動や旋回ができ、限られたスペースでも使用しやすい。脚も広く開くので介助スペースも確保できる。ハンガーも床に届き、昇降スピードも速い。ご利用者にも揺れが少なく、安全な移乗介助を行うことができる。当施設の従来型は古い施設であり、多床室、個室共に狭いので、有効に使用できる。

ユニットに導入したリフトは更に電動アシスト機能が搭載されている。当施設のユニットはクッションフロアであり、他のリフトではキャスターが沈んでしまい、操作がしにくいですが、このリフトはそのような問題を解決し、快適に操作ができる。

当施設は女性や高齢な職員が多いので、この 2 台を導入することにより、床からの移乗介助等を職員 1 人で安全に行うことができる。垂直昇降なので、ご利用者の緊張緩和や拘縮の予防が期待できる。それによりご利用者の生活動作の維持・向上を図ることができ、双方にとってよりよい環境を整えることができる。

3 本事業により導入した機器

床走行式リフト 2 台 (URL) <http://tumamatabu21.blog.fc2.com/blog-entry-289.html>